

わくわく橘っ子

橘小学校

人権教育便り NO. 2

令和6年5月



～「阿南市人権教育・啓発市民講座」から学ぼう～

4年生の保護者の皆様が橘小の「人権教育部」の代表として、阿南市人権教育・啓発市民講座や阿南市同和問題講演会に毎年、参加して下さっています。今年度、参加して下さった方々の感想をぜひお読みいただき、学校全体で講演内容を共有し、様々な人権問題について考えていけたらと思います。

さっそく参加して下さった方、これから参加くださる保護者の皆様、ありがとうございます。

**第1回 講師 公益社団法人認知症の人と家族の会徳島県支部
社会福祉士 大下直樹さん**

演題 「高齢者の人権を考える～認知症を足がかりに～」

【感想】

私たちは今、人類が経験したことのない高齢化社会を生きています。大下さんの講演を聴き、一人ひとりが認知症を自分事として意識し、社会の在り方を見直す必要性を感じました。見直すことで、「認知症になっても安心して暮らせる社会」すなわち「すべての人々が安心して暮らせる社会」に近づくことができると信じたいと思いました。

～ありがとうの手紙～

忙しい日々の中で相手のちょっとした優しさにふれ、感謝の気持ちを伝えたいときが、ありませんか？

そこで、人権・いじめ防止委員会では、「ありがとうの手紙」を全校児童に募集し、全校放送することで、「ありがとう」の気持ちを学校中に広めています。これからの人権便りで少しずつ紹介していきます。（1年生・6年生のお手紙は次号で紹介します。）

「2年生〇〇さんへ

運動場でいつもいっしょにあそんでくれてありがとう。うれしいよ。
2年〇〇より」

「3年生〇〇さんへ

ぼうさい公園でいつもたくさんしゃべってくれてありがとう。大好きだよ。
3年〇〇より」

「4年生〇〇さんへ

花つみを一緒にしてくれてありがとう。また、いろいろな花をあつめようね。
4年〇〇より」

「全校のみなさんへ

昨年度は能登半島地震のほ金をたくさんしてくれてありがとうございます。ほくたちもこの募金活動をしたことが勉強になりました。
5年〇〇より」